

事務事業実績測定調書

R4調書番号 574

事務事業名称	年金・相談活動事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	農業委員会事務局			課	農業委員会事務局		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1971(S46)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	独立行政法人農業者年金基金法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内農家(農地を持っていない農業者、配偶者や後継者などの家族従事者も加入することができる)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	農業者に経済的な不安がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	年金・相談事業の実施により、市内農業者の福祉が向上し、安心して営農できる環境となる。				
事業概要	①年金事業諸届等の受付、確認及び基金への送付。 ②農業者からの農地法、税制度にかかる相談。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			受け付けた申請に対し、内容確認及び基金への送付等の適切な対応を行う。				年金事業諸届の申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明		対応件数				申請件数			
	指標種類		単位 件				単位 件			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		2	5	5	5	3	5	5	5
	実績		0	5	6		3	5	6	
達成度			0%				0%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			各種相談について、適切に対応する。				農業者からの農地法、税制度にかかる相談を受け付ける。			
指標設定②	指標説明		対応件数				相談件数			
	指標種類		単位 件				単位 件			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		1	1	1	1	1	1	1	1
	実績		0	0	2		0	0	3	
達成度			0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	786	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	781		
物件費計	0	0	0	26	0.0%	
歳出計	798	786	781			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	26		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>農業者年金制度の周知を図り、新規就農者に対し加入推進活動を行い、新規加入に取り組んだ。</p> <p>①年金事業諸届等の受付、確認及び基金への送付件数 24件</p> <p>②農業者からの相談件数 3件</p> <p>③新規加入件数 2件</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	農業者年金加入対象者に対し、情報提供や相談活動など加入に向けた取り組みを行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 575

事務事業名称	農業委員会運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	農業委員会事務局			課	農業委員会事務局		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1951(S26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	農地法、農業委員会等に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	農業委員会			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	事務局として農業委員会の円滑な運営を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑に農業委員会が運営されている。				
事業概要	①農業委員会等会議運営に関する事務・委員会総会、常任委員会、協議会の開催とそれに伴う議案書、資料、会議録作成・現地調査による遊休農地、無断転用等の発見・指導。 ②農業振興に関すること・農業振興協議会及び農業再生協議会・市への農業振興に関する提言。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			適正に農業委員会が運営されている。				農業委員会総会・協議会等を適正に進められるよう体制等を充実させる。			
指標設定	指標説明		農業委員会総会・協議会の実施率 【算出式:開催回数/予定回数×100】				農業委員会総会・協議会の開催予定回数			
	指標種類		単位				単位			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	3	12	12	13
	実績		100	100	100		3	12	12	
達成度			0%				0%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			市内の農地の遊休化の防止・解消が図られる。				農業委員会活動として、遊休農地発生防止・解消のため「農地パトロール」を実施する。			
指標設定②	指標説明		遊休農地面積				農地パトロール実施回数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		3,000	3,000	3,000	3,000	3	3	3	3
	実績		1,163	1,833	27,727		3	3	3	
達成度			-724%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,950	15,714	12,499		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	15,950	15,714	12,499		
物件費計	491	335	337	583	57.8%	
歳出計	16,441	16,049	12,836			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	491	335	337	583		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>農業委員会総会、協議会、常任委員会等を開催するとともに、農地パトロール等を実施した。 令和4年度は農地パトロール等において遊休農地の区分の判断をより厳正に行った結果、遊休農地面積が大幅に増加した。</p> <p>①農業委員会総会 12回、常任委員会 12回、協議会 12回、研修会 1回 ・農地パトロール(利用状況調査) 9月～11月 ○違反転用 なし ○遊休農地 年度当初0.18ha、増加2.59ha、年度末2.77ha ②農業振興協議会1回、農業再生協議会1回</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>各種研修会等を活用し、農地の権利調整や農地利用の最適化の推進、農業一般に関する調査及び情報の提供など、公正・公明な委員会の運営に努める。 遊休農地の区分の判断をより厳正に行ったため遊休農地面積が大幅に増加したが、今後もより一層農業委員、農地利用最適化推進委員との連携を図り、農地の遊休化の防止・解消に向けて取り組んでいく。</p>

事務事業名称	農用地利用集積事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	農業委員会事務局			課	農業委員会事務局		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	農地を貸す人:枚方市内に農地を所有する市内、市外の人 農地を借りる人:枚方市内の農地を借りて耕作する意欲のある、市内・市外の農家と準農家 ※準農家:一定水準の農業技術を有し、小規模な農地を継続的に耕作し農産物の販売を目指す新規参入者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	農地を貸したい人と借りたい人それぞれについて、マッチングを行う機会や場が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農地の貸し借りが活発に行われ、遊休農地が減少し、市内農業が活性化し継続的な営農ができています。				
事業概要	利用権設定等促進事業の推進のため、担い手への農地の利用集積の進め方など本事業の普及・啓発活動を行う。農業委員、農地利用最適化推進委員等の農業者に対して各種会議や研修会を開催、事業の説明、PR資料配布、情報交換等を行い、地域内で掘り起こし活動をして農地の貸し手、借り手の利用関係を調整する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市内農業が活性化し継続的な営農ができる。				アウトプット (活動結果)	農地の貸し借りが活発に行われ、遊休農地の利用発生の防止、遊休農地が減少する。				インプット (活動)	各種会議や研修会を開催、事業の説明、PR資料配布、情報交換等を行い、地域内で掘り起こし活動を実施する。			
	指標説明	利用権設定面積				新たに「農地貸借希望台帳」に登録された、貸し手希望の農地面積				周知実施回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	単位	ha	単位	m ²	単位	回	単位	回	単位	回	単位	回		
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	20,000	34.40	36.50	38.20	5000(3)	5,000	5,000	5,000	3	3	3	3		
達成度	95%				131%				67%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,190	3,143	6,250		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	3,143	6,250		
	物件費計	99	69	90	220	40.9%
	歳出計	3,289	3,212	6,340		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	99	69	90	220	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>本事業は「農地銀行」という名称で取り組んでいるが、まだ制度を知らない農家もいることから、引き続き周知を図る必要がある。</p> <p>○利用権設定面積:新規設定33,859㎡、再設定39,807㎡、年度末時点346,763㎡、前年度比28,837㎡(9.1%)増加。</p> <p>○貸借希望台帳(貸し手)新規6,574㎡、年度末時点46,039㎡、前年度比3,001(6.9%)増加、(借り手)新規2人、登載取下0人、年度末時点21人、前年度比2人増加</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地域の実態に応じた活動を展開することにより、農地のマッチングを進め、利用権の設定につなげる。また、あらゆる機会を捉えて制度の啓発・周知を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 911

事務事業名称	農業委員会事務局運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	農業委員会事務局			課	農業委員会事務局		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	農業委員会事務局職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	事務局の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局の運営が円滑に行われている。				
事業概要	課の運営事務 (令和元年度から、農地適正管理システム維持管理事務を編入)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	15,950	15,714	15,624		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	15,950	15,714	15,624		
	物件費計	491	335	337	583	57.8%
歳出計		16,441	16,049	15,961		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		491	335	337	583	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度においては、職員1名が上半期は農業振興課にて、下半期は他課にて事務応援を行ったが、適正かつ効率的な事務執行に取り組んで対応した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、適正かつ迅速に事務を執行する。